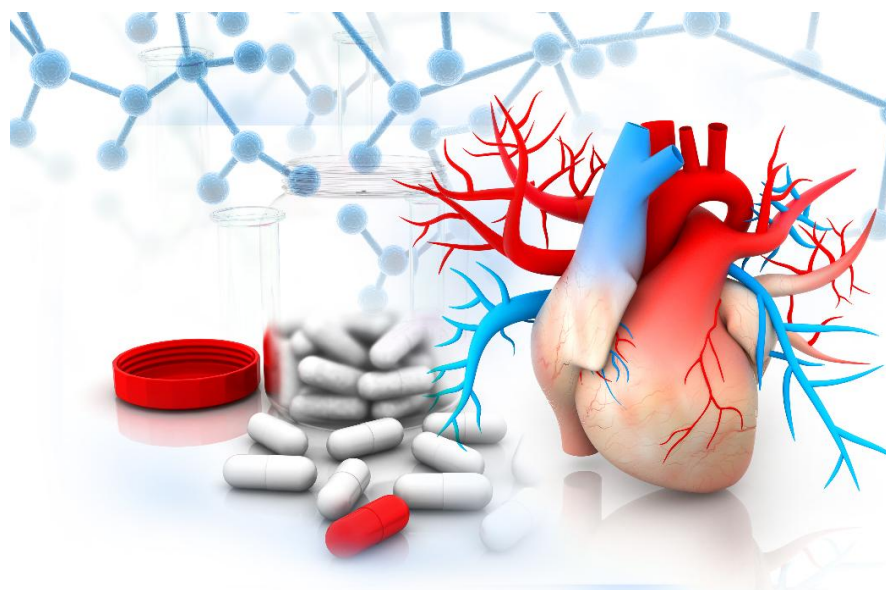


SGLT2 阻害薬による心血管疾患の予防効果について

米国糖尿病協会（ADA）が発表した、糖尿病の標準診療「Standards of Medical Care in Diabetes」の2018年版で、心血管疾患の既往がある2型糖尿病患者では、メトホルミンに併用する第二選択薬として、**SGLT2 阻害薬**など心血管疾患予防のエビデンスがある薬剤を優先するよう推奨しました。



SGLT2 阻害薬、エンパグリフロジン（商品名ジャディアンス）の心血管病アウトカムを見た大規模臨床試験 EMPA-REG OUTCOME 試験では、心血管死の相対リスクはプラセボ群と比べて 38%と有意に低下していました（ハザード比 0.62、95%CI：0.49-0.77、 $P < 0.001$ ）。さらに副次的な解析として、心不全による入院もプラセボ群と比較してエンパグリフロジン群で有意（ハザード比 0.65、95%CI：0.50-0.85、 $P = 0.002$ ）に低下することも報告されました。（Zinman B, et al. N Eng J Med. 2015;373:2117-28.）



また、EMPA-REG OUTCOME 試験の腎アウトカム解析結果も発表され、腎複合イベント（顕性アルブミン尿への進展、血清クレアチニン値の倍増、透析など腎代替療法の開始、腎疾患による死亡）の相対リスクは 39%減少していたことが示されました（ハザード比 0.61、95%CI：0.53-0.70、 $P < 0.001$ ）。

(Wanner C. et al. N Eng J Med. 2016;375:323-34.)



